

No.2367

院長訪問

よりそう総合診療クリニック
小西 徹夫 院長



札幌市東区・よつば家庭医療クリニック所長を経て8月に開業した。内科、小児科、緩和ケア内科を標榜し、外来に加え、通院困難な患者には訪問診療も実施。小児から高齢者まで3世代通ってもらえるかかりつけ医をコンセプトに、診療科横断で幅広く対応していく考えた。

3世代に寄り添う、地域のかかりつけ医に

「札幌市東区・よつば家庭医療クリニック」の院長小西徹夫氏。約10年前、札幌市東区に「よつば家庭医療クリニック」を開業した。内科、小児科、緩和ケア内科を標榜し、外来に加え、通院困難な患者には訪問診療も実施。小児から高齢者まで3世代通ってもらえるかかりつけ医をコンセプトに、診療科横断で幅広く対応していく考えた。

Hospital & Clinic



快適さと清潔感を重視

恵佑会第2

消化器がん検診センター開設

札幌市白石区の恵佑会第2病院(高橋弘明理事長、90床)は、消化器がん検診センターを開業した。予防医療の取り組み強化が目的で、検診で精密検査・早期治療が必要となった場合は恵佑会札幌病院(高橋弘明理事長、243床)へ早期治療が受けられる体制を整えた。

病棟再編 空きフロア活用

第2病院は新型コロナウイルスウィルス感染症流行の収束を機に病棟を再編し、従来の3病棟から2病棟体制に移行した。空いた2階フロアの有効活用方法として、検診や人間ドックといった予防医療の拡充が安定した収入源につながると考え、2025年9月から構想。26年7月に協会けんぽ生活習慣病予防健診の実施医療機関に指定されるなど、約1年かけて同センター開設に漕ぎ着けた。

一般的に内視鏡検査は予約取りづらく、受診に待たなければならないという課題がある。同病院は、空いた2階フロアの有効活用方法として、検診や人間ドックといった予防医療の拡充が安定した収入源につながると考え、2025年9月から構想。26年7月に協会けんぽ生活習慣病予防健診の実施医療機関に指定されるなど、約1年かけて同センター開設に漕ぎ着けた。

「睡眠障害」は、初回に「睡眠」に関する知識を身につけてもらい、正しい睡眠習慣の確立を目指す。睡眠の重要性を伝えるだけでなく、睡眠の正しい知識を身につけてもらい、正しい睡眠習慣の確立を目指す。

「睡眠障害」は、初回に「睡眠」に関する知識を身につけてもらい、正しい睡眠習慣の確立を目指す。睡眠の重要性を伝えるだけでなく、睡眠の正しい知識を身につけてもらい、正しい睡眠習慣の確立を目指す。

「睡眠障害」は、初回に「睡眠」に関する知識を身につけてもらい、正しい睡眠習慣の確立を目指す。睡眠の重要性を伝えるだけでなく、睡眠の正しい知識を身につけてもらい、正しい睡眠習慣の確立を目指す。

「睡眠障害」は、初回に「睡眠」に関する知識を身につけてもらい、正しい睡眠習慣の確立を目指す。睡眠の重要性を伝えるだけでなく、睡眠の正しい知識を身につけてもらい、正しい睡眠習慣の確立を目指す。

「睡眠障害」は、初回に「睡眠」に関する知識を身につけてもらい、正しい睡眠習慣の確立を目指す。睡眠の重要性を伝えるだけでなく、睡眠の正しい知識を身につけてもらい、正しい睡眠習慣の確立を目指す。

「睡眠障害」は、初回に「睡眠」に関する知識を身につけてもらい、正しい睡眠習慣の確立を目指す。睡眠の重要性を伝えるだけでなく、睡眠の正しい知識を身につけてもらい、正しい睡眠習慣の確立を目指す。

「睡眠障害」は、初回に「睡眠」に関する知識を身につけてもらい、正しい睡眠習慣の確立を目指す。睡眠の重要性を伝えるだけでなく、睡眠の正しい知識を身につけてもらい、正しい睡眠習慣の確立を目指す。

「睡眠障害」は、初回に「睡眠」に関する知識を身につけてもらい、正しい睡眠習慣の確立を目指す。睡眠の重要性を伝えるだけでなく、睡眠の正しい知識を身につけてもらい、正しい睡眠習慣の確立を目指す。



更新した最新機種とカテーテル室内

江別市立病院(長谷部 啓輔院長)は、最新の心臓血管造影装置を1台更新し、線被ばく量を約4割カットした。最新の心臓血管造影装置を1台更新し、線被ばく量を約4割カットした。

江別市立病院(長谷部 啓輔院長)は、最新の心臓血管造影装置を1台更新し、線被ばく量を約4割カットした。最新の心臓血管造影装置を1台更新し、線被ばく量を約4割カットした。

心臓血管造影装置更新 画質向上、被ばく量4割減

江別市立

江別市立病院(長谷部 啓輔院長)は、最新の心臓血管造影装置を1台更新し、線被ばく量を約4割カットした。最新の心臓血管造影装置を1台更新し、線被ばく量を約4割カットした。

江別市立病院(長谷部 啓輔院長)は、最新の心臓血管造影装置を1台更新し、線被ばく量を約4割カットした。最新の心臓血管造影装置を1台更新し、線被ばく量を約4割カットした。

江別市立病院(長谷部 啓輔院長)は、最新の心臓血管造影装置を1台更新し、線被ばく量を約4割カットした。最新の心臓血管造影装置を1台更新し、線被ばく量を約4割カットした。

江別市立病院(長谷部 啓輔院長)は、最新の心臓血管造影装置を1台更新し、線被ばく量を約4割カットした。最新の心臓血管造影装置を1台更新し、線被ばく量を約4割カットした。

江別市立病院(長谷部 啓輔院長)は、最新の心臓血管造影装置を1台更新し、線被ばく量を約4割カットした。最新の心臓血管造影装置を1台更新し、線被ばく量を約4割カットした。

江別市立病院(長谷部 啓輔院長)は、最新の心臓血管造影装置を1台更新し、線被ばく量を約4割カットした。最新の心臓血管造影装置を1台更新し、線被ばく量を約4割カットした。

江別市立病院(長谷部 啓輔院長)は、最新の心臓血管造影装置を1台更新し、線被ばく量を約4割カットした。最新の心臓血管造影装置を1台更新し、線被ばく量を約4割カットした。

江別市立病院(長谷部 啓輔院長)は、最新の心臓血管造影装置を1台更新し、線被ばく量を約4割カットした。最新の心臓血管造影装置を1台更新し、線被ばく量を約4割カットした。

江別市立病院(長谷部 啓輔院長)は、最新の心臓血管造影装置を1台更新し、線被ばく量を約4割カットした。最新の心臓血管造影装置を1台更新し、線被ばく量を約4割カットした。

2026年版

医療と介護ナビ

専用Webページを公開しました

誌面 × Webのセットで 情報発信力UP

- 地域や診療科目で病院・診療所が検索可能
- 掲載医療機関・介護事業所および関連企業へのポータル(窓口)機能強化
- 広く一般の方々にも「届きやすい情報発信」を展開していきます

2027年度版は本年10月発行予定です

北海道医療新聞社
〒060-0042 札幌市中央区大通西6丁目(北海道医師会館)
TEL.011-221-7777 FAX.011-281-2678
https://www.medim.co.jp/



こちらからどうぞ
www.medim.co.jp/navi



医療機関の情報をより使いやすくWebに収録